

2009年1月22日

各 位

コカ・コーラウエスト株式会社

『「文化財を守り伝える京都府基金」支援自動販売機』を設置します。

**自動販売機の売上げの一部が寄付され、文化財保護に活用されます。
大規模災害発生時には、無償で機内の飲料を取り出すことができます。
1月26日(月)に除幕式を実施いたします。**

コカ・コーラウエスト株式会社(代表取締役社長 兼CEO 末吉 紀雄 以下当社)は、皆さまにお買い求め頂いた自動販売機の売上金の一部が、「文化財を守り伝える京都府基金」に寄付されるとともに、大規模災害発生時には機内の飲料を無償で取り出すことができる『「文化財を守り伝える京都府基金」支援自動販売機』を設置いたしますのでお知らせいたします。

多くの歴史的、文化的遺産を有する京都府では、全国で初めてとなる、ふるさと納税制度を活用した文化財保護のためだけの寄付制度として、平成20年に「文化財を守り伝える京都府基金」を設立し、ひろく寄付を募っております。

今回設置する『「文化財を守り伝える京都府基金」支援自動販売機』は、皆さまに通常通り飲料をお買い求めいただくだけで、売上金の一部が文化財保護に関する事業に活用されます。また、今回設置する自動販売機は災害対応型となっており、万が一、大規模災害が発生した場合には、遠隔操作により自動販売機内の在庫飲料を無償で取り出すことができ、災害時の救援物資として活用する事ができるとともに、自動販売機に搭載されたメッセージボードにより、平時はニュースの表示や広報活動に、災害発生時には災害情報をリアルタイムに表示することが可能です。

今回の取り組みを通じて、「文化財を守り伝える京都府基金」をひろく認知していただき、より多くの方に募金にご協力頂けるきっかけとなればと考えております。

『「文化財を守り伝える京都府基金」支援自動販売機』の設置に先立ち、1月26日(月)に、関係者による自動販売機の除幕式を実施いたします。

■ 『「文化財を守り伝える京都府基金」支援自動販売機』 除幕式概要

- ・日時 2009年1月26日(月) 13時30分より
- ・場所 京都府立植物園正門前 (京都市左京区下鴨半木町)
- ・出席者 京都府文化環境部長 山内 修一
京都府立植物園長 松谷 茂
財団法人 京都府立植物園協力会長 瀧 紘一
コカ・コーラウエスト株式会社 ベンディング営業本部市場開発部長 鈴木 弘美

■ 『「文化財を守り伝える京都府基金」支援自動販売機』 設置場所

- ・京都府立植物園正門前 (京都市左京区下鴨半木町)
- ※尚、2号機として、スーパーフレスコ五条西洞院店(京都市下京区若宮通五条下ル)に設置を予定しております。

【ご参考】『「文化財を守り伝える京都府基金」支援自動販売機』イメージ



■災害対応型自動販売機について

パケット通信ネットワークを使い、LEDメッセージボードへのメッセージ配信、ならびにフリードリンク(無償提供)の操作が可能です。

- ①大規模災害等の発生時には、遠隔操作にて「無料提供」の設定が可能です。これにより、災害対応型自動販売機内の商品を無償で取り出すことが可能になります。
- ②LEDメッセージボードにより、
 - ・平常時は皆さまへの地域情報や、フラッシュニュース等の情報提供を行います。
 - ・緊急時には「災害情報」等のメッセージをリアルタイムで配信することが可能です。これにより緊急時においても広域的、安定的にメッセージを届けることができます。